



# よ坊さんだより

▼6▲

きますので、気がついたときには歯がある程度生えているということもよくあります。

生えてきてすぐの歯は未熟で弱く、歯の溝もくつきりと深くついており、汚れがたまりやすいため非常にむし歯になりやすいです。

## 仕上げ磨きしっかりと

六歳臼歯とは永久歯である第一大臼歯の俗称です。6歳前後で生えてくることからこのように呼ばれています。この六歳臼歯が生えるころにはいろいろと注意しなければいけないことがあります。

まず、この六歳臼歯が生えるころと時を同じくして、下の前歯の生え変わりが

が始まります。人生初めての歯の生え変わりですので、それはそれは大騒ぎになります。それに対して六歳臼歯は乳歯が抜けて生え変わるのではなく、乳歯の歯の生え変わりに合わせて

歯のないところから生えて

さらに場所が一番奥のため磨きにくく、せっかくなかなか歯が生えてきたにもかかわらず、すぐにむし歯になることが非常に多いのです。

子どもも親の仕上げ磨きを嫌がったりするようになり、親の目が行き届きにくくなります。これから70年、80年と使っていくかないといけない歯です。また、六歳臼歯はかみ合わせにおいても非常に重要な役割を果たす歯でもあります。親の仕上げ磨きは必ずしていただきたいと思えます。そして気になれば早めにかかりつけの歯科医院を受診してください。

(京都府歯科医師会広報室 次長 石原宗和)

\*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。

## 六歳臼歯が生えるころ①

さらに、この頃になると